



2018年9月4日

【事例紹介】
リスクアペタイト・フレームワーク
の構築

滋賀銀行 経営管理部

SHIGA BANK

今回のポイント

- ◆リスク管理体制
- ◆当行のRAFの特徴
 - ・中計のPDCAとその主な内容
 - ・ストレステスト
- ◆今後の改善点

今回のポイント

◆リスク管理体制

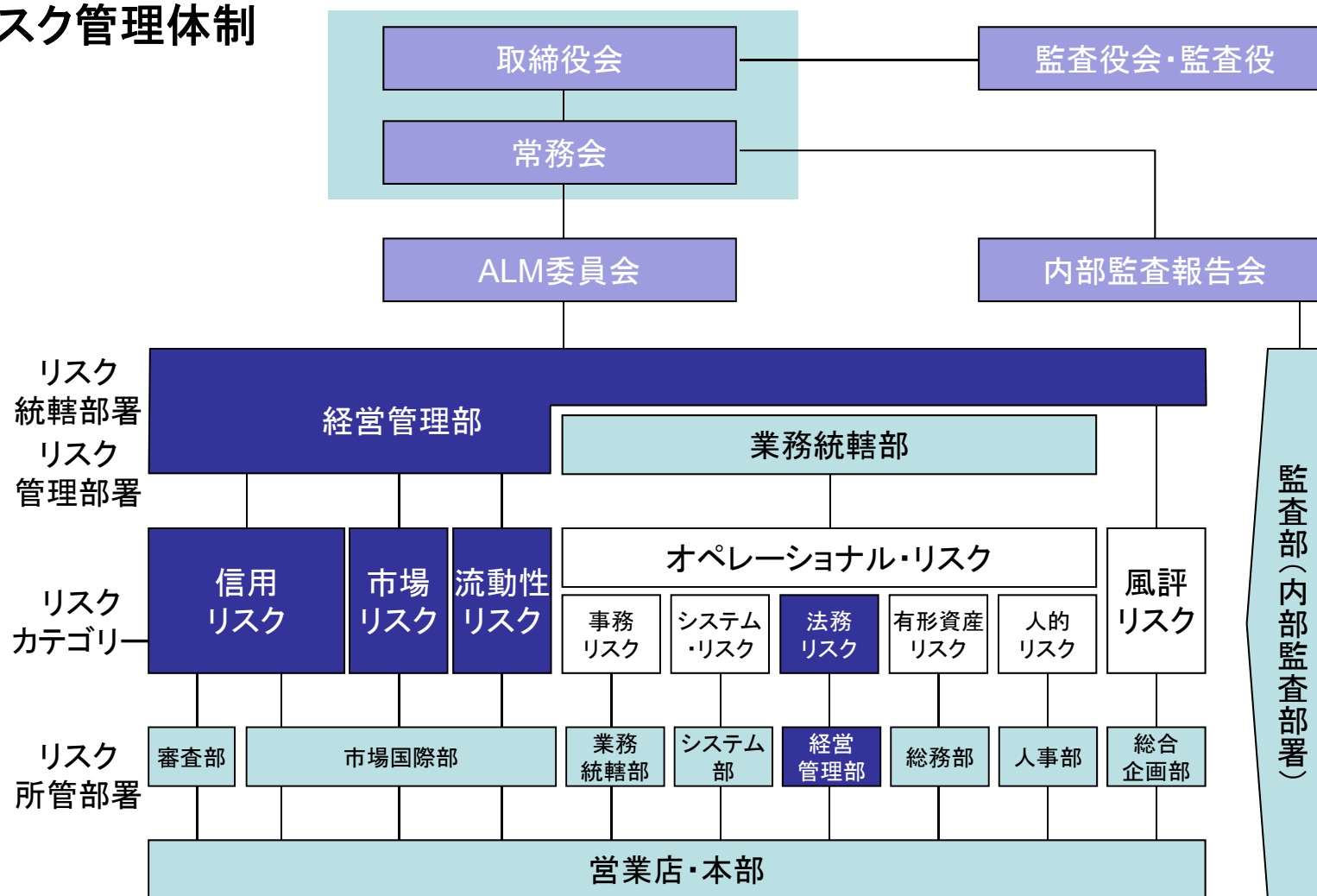
◆当行のRAFの特徴

- ・中計のPDCAとその主な内容
- ・ストレステスト

◆今後の改善点

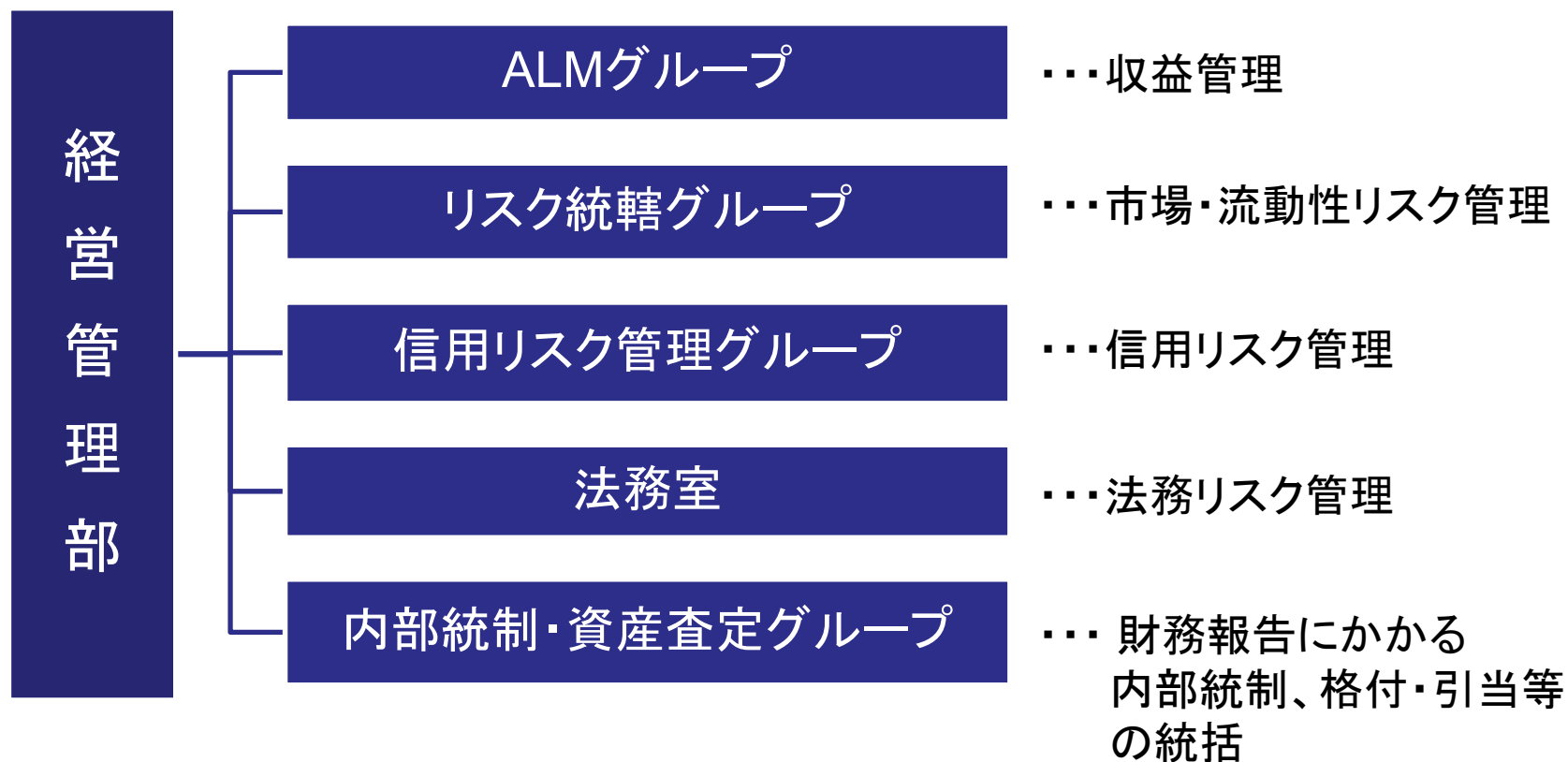
リスク管理体制

リスク管理体制



リスク管理体制

経営管理部の組織構成



今回のポイント

◆リスク管理体制

◆当行のRAFの特徴

- ・中計のPDCAとその主な内容
- ・ストレステスト

◆今後の改善点

当行のRAFの特徴

・リスクアペタイト

業務計画を達成するために、どのようなリスクを、どの程度取るかを示すもの

計量可能(信用リスク・市場リスク・流動性リスク)のみを対象

・リスクアペタイト・フレームワーク

リスクアペタイトを決定・共有し、それに基づいた収益計画策定、戦略の実行、及び結果をモニタリングするための仕組み

役員とのリスク・コミュニケーション

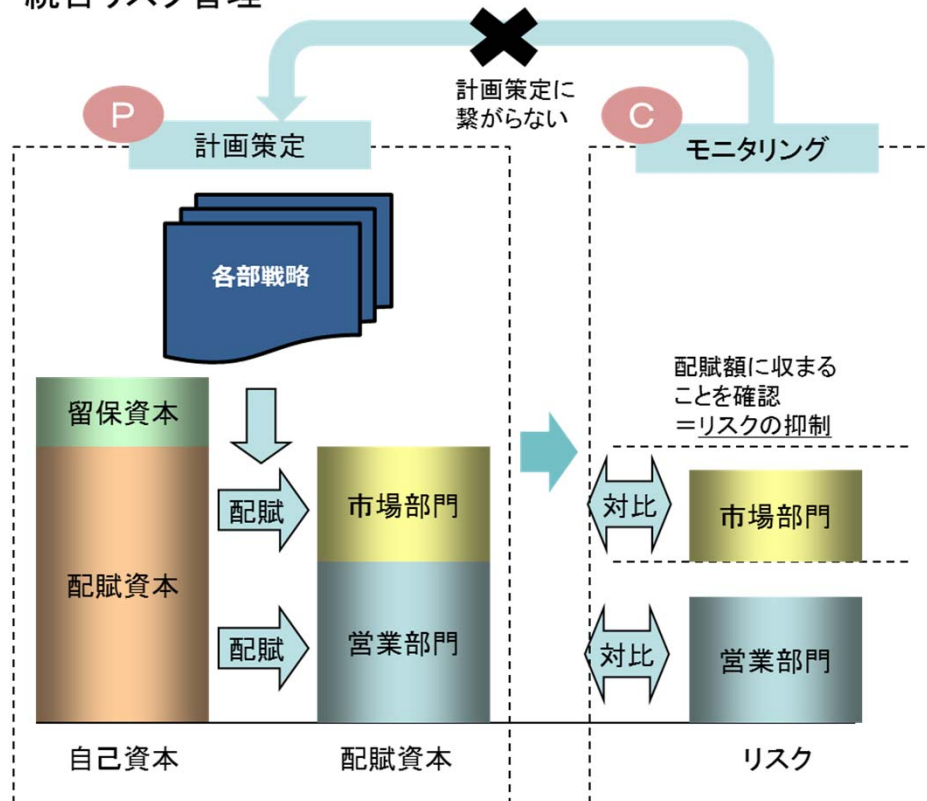


本部各部・営業店への浸透

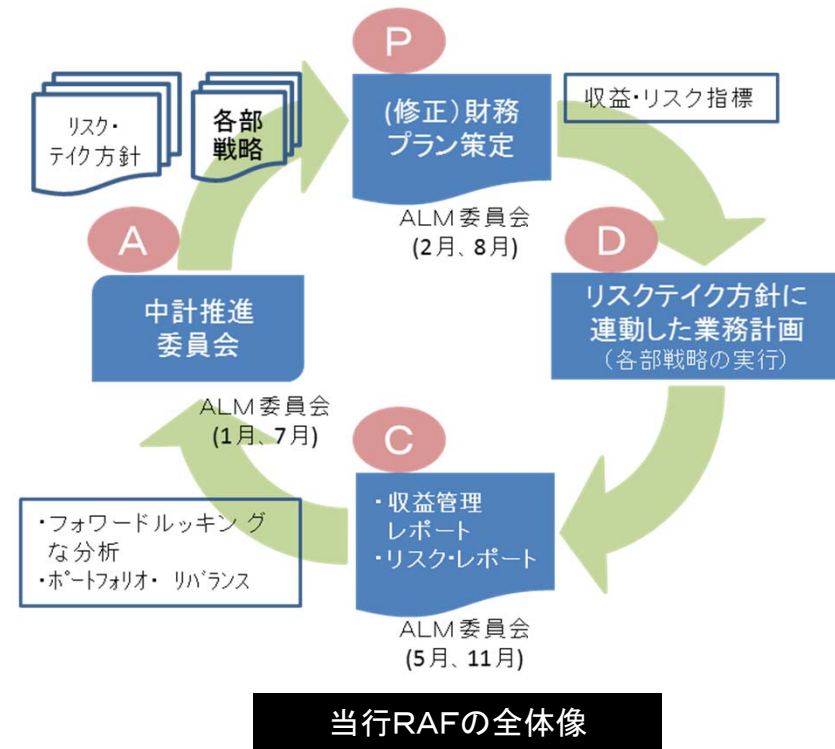
当行のRAFの特徴

統合リスク管理とRAF

・統合リスク管理



・RAF

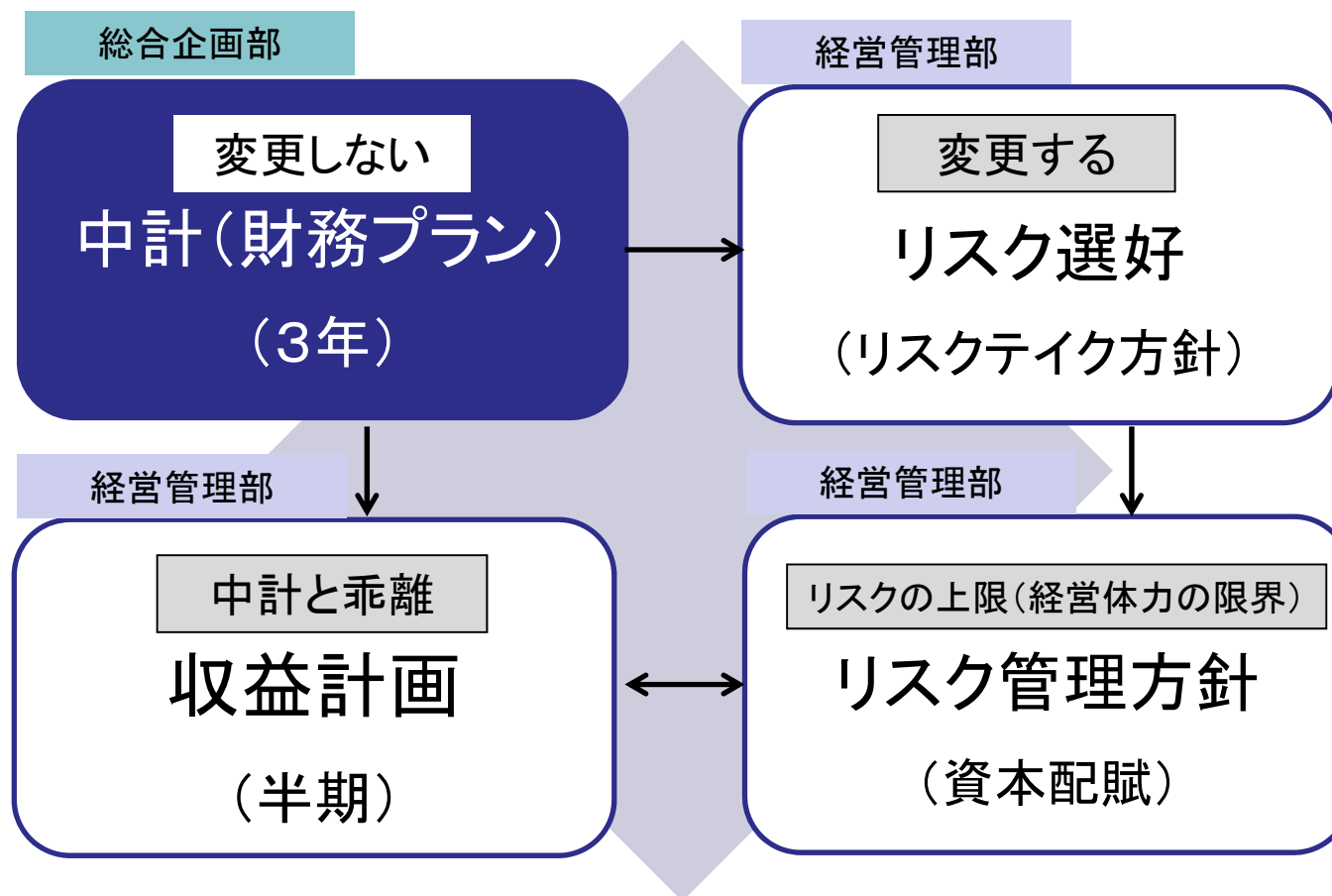


当行RAFの全体像

当行のRAFの特徴

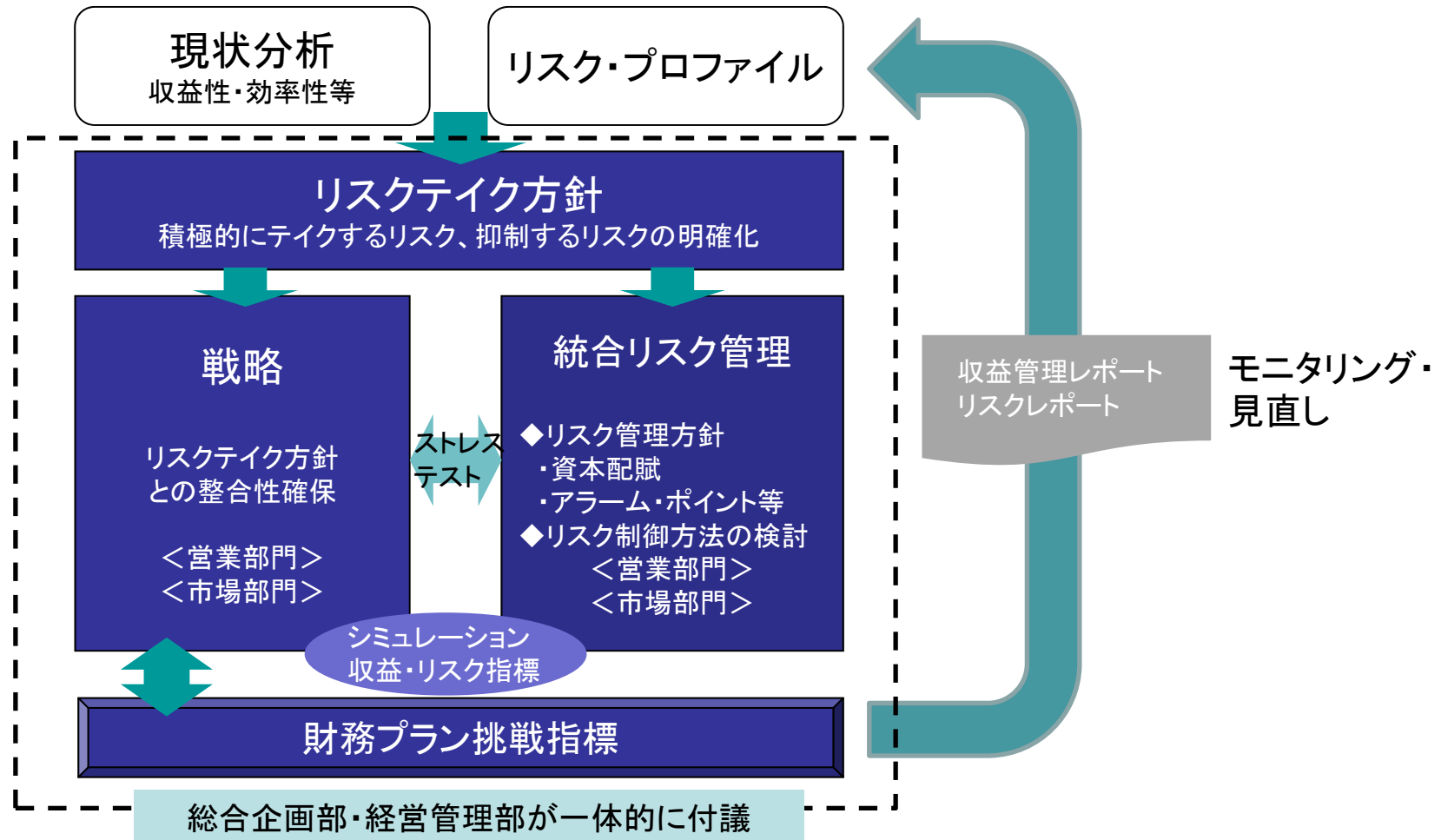
従来の計画(戦略)、リスク選好・管理方針

従来でも、収益計画とリスク管理方針を取締役会に付議していたが・・・。



当行のRAFの特徴

財務プラン策定プロセス



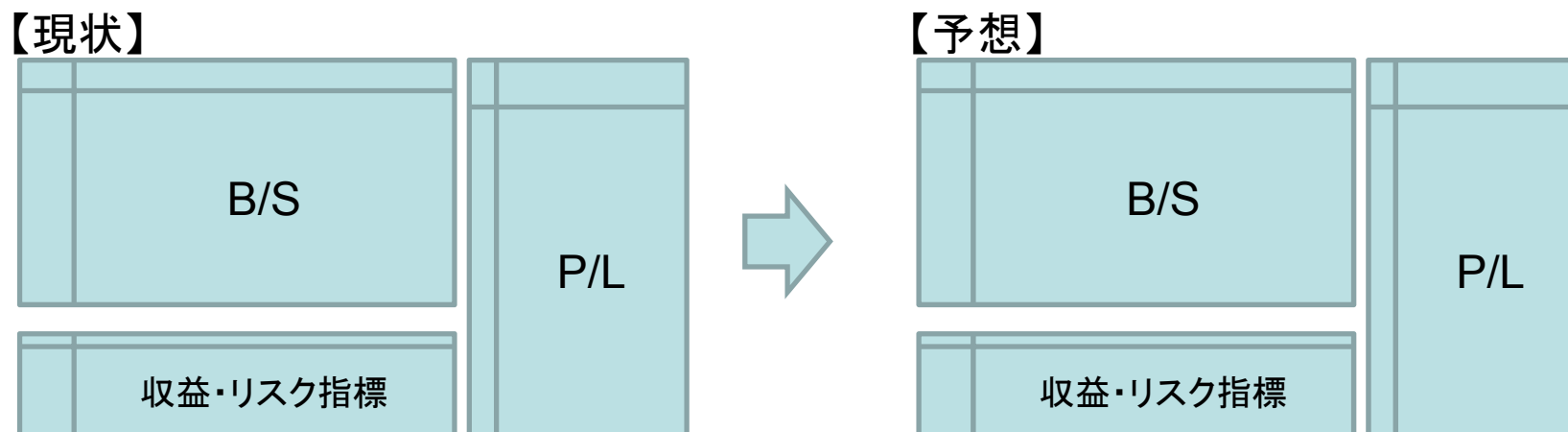
当行のRAFの特徴

各種バーゼル規制(国際統一基準)の導入スケジュール
→リスクアペタイト指標として活用

規制の種類		2016年	2017年	2018年	2019年
信用リスク	(1)自己資本比率 総自己資本 +資本保全バッファ	8.625%	9.25%	9.875%	10.5%
	(2)レバレッジ比率	開示	→		第1の柱へ 3.0%
金利リスク	(3)アウトライヤー 比率⇒IRRBB	総資本の20%	→	Tier1の15%	→
流動性リスク	(4)流動性カバレッジ 比率(LCR)	70%	80%	90%	100%
	(5)安定調達比率 (NSFR)				(100%)

当行のRAFの特徴

・収益・リスク指標の予想

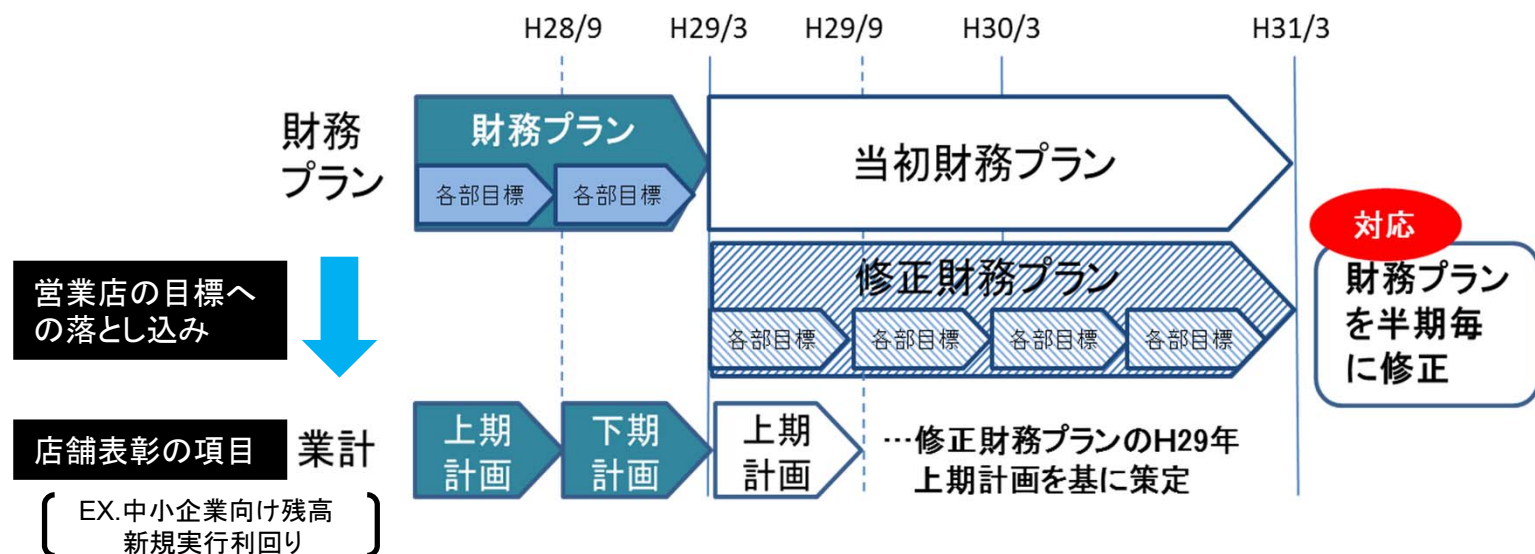


収益・リスク指標の数値予測にはB/S予想が必要

ROE・ROA・顧客向けサービス利益率等様々な数値の算出

当行のRAFの特徴

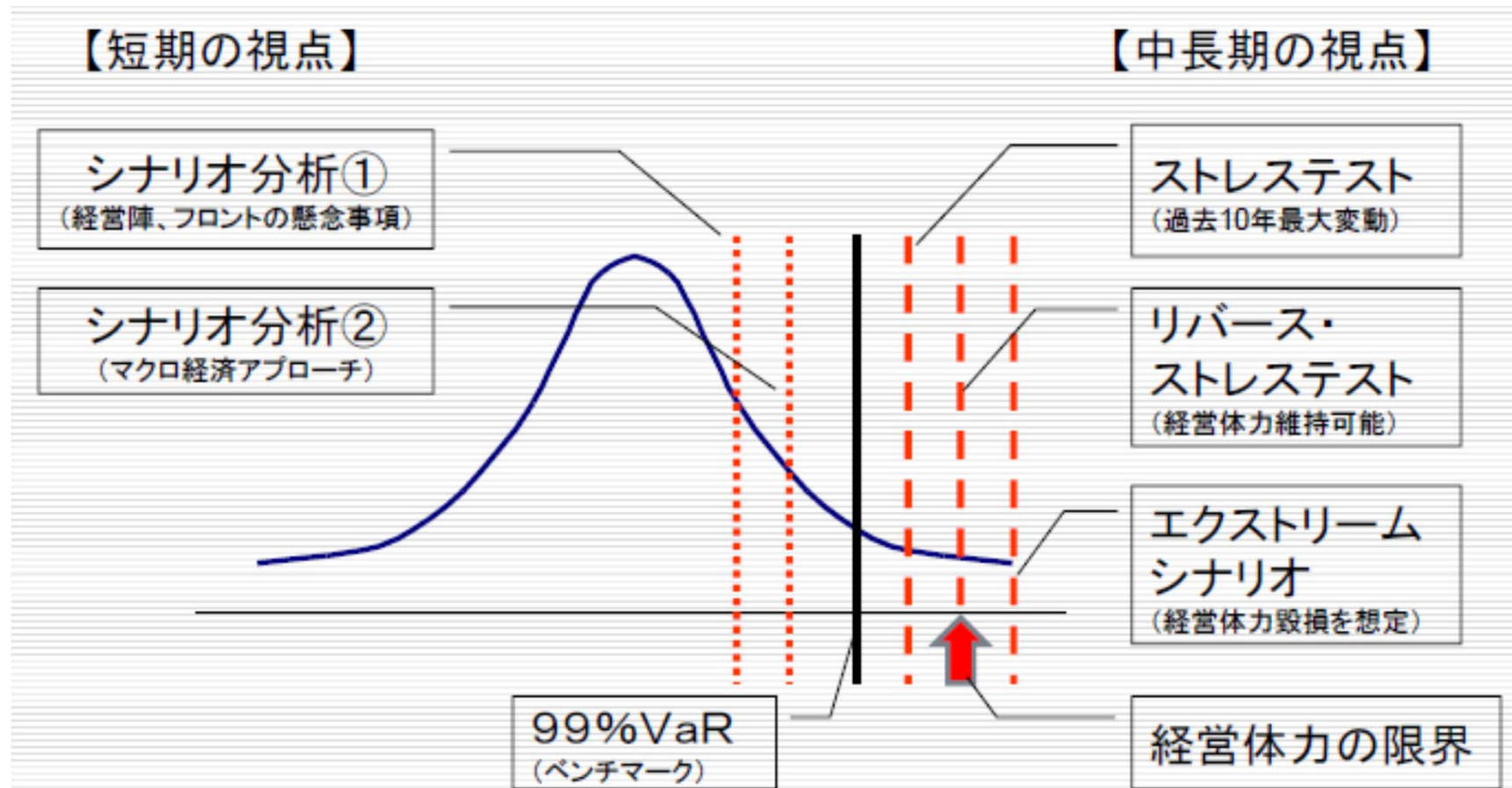
・リスクテイク方針の支店への浸透



	財務プラン	業務計画	
		預貸金・役務収益	有価証券(業務運営計画)
統轄部署	総合企画部	営業統轄部 市場国際部	市場国際部
計画期間	3年間程度	半年	
計画対象	銀行全体	営業店	本部

当行のRAFの特徴

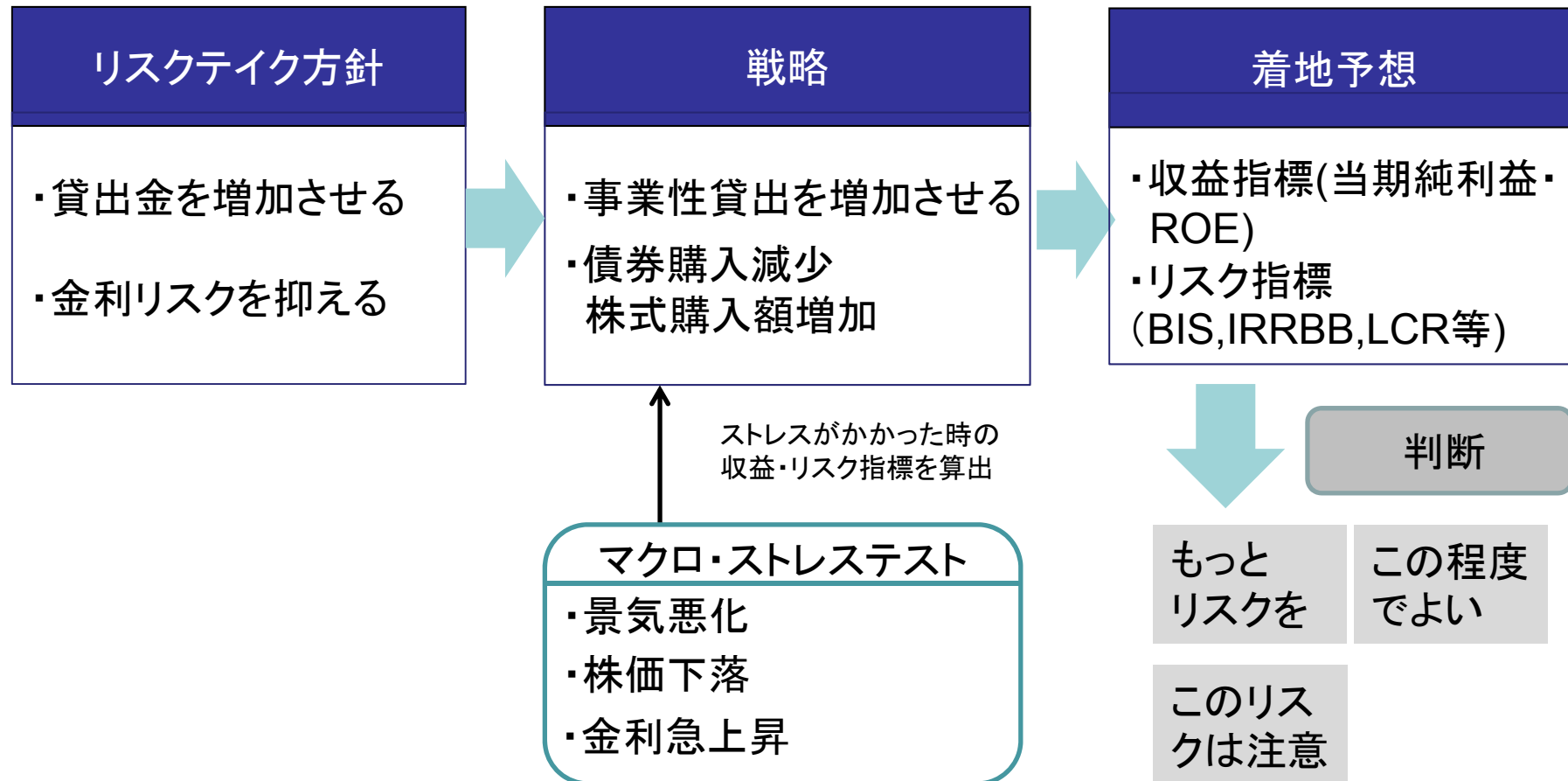
ストレステスト



※日本銀行金融機構局金融高度化センター「金融機関のガバナンス」2015.3

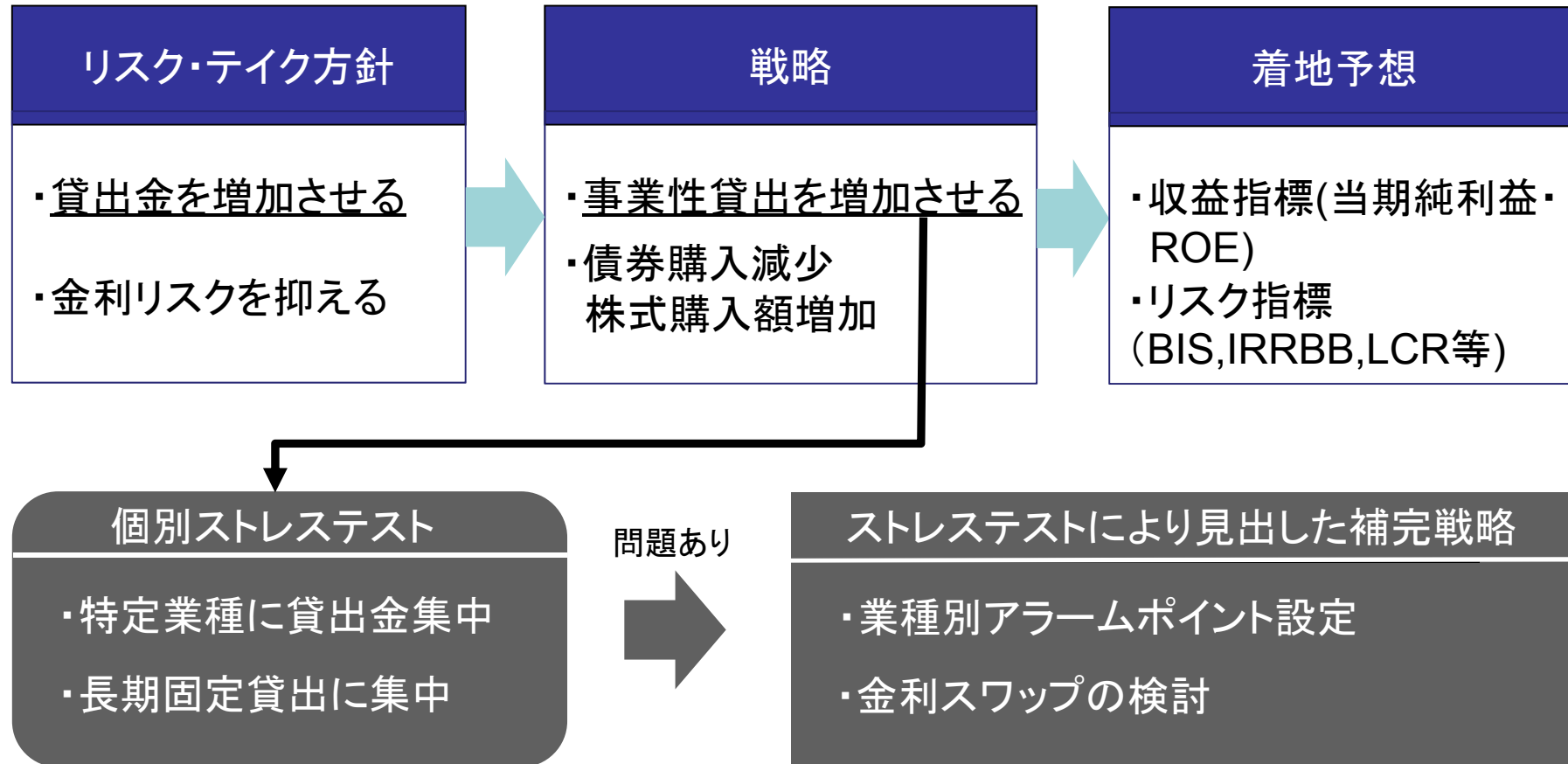
当行のRAFの特徴

マクロ・ストレステスト



当行のRAFの特徴

個別ストレステスト

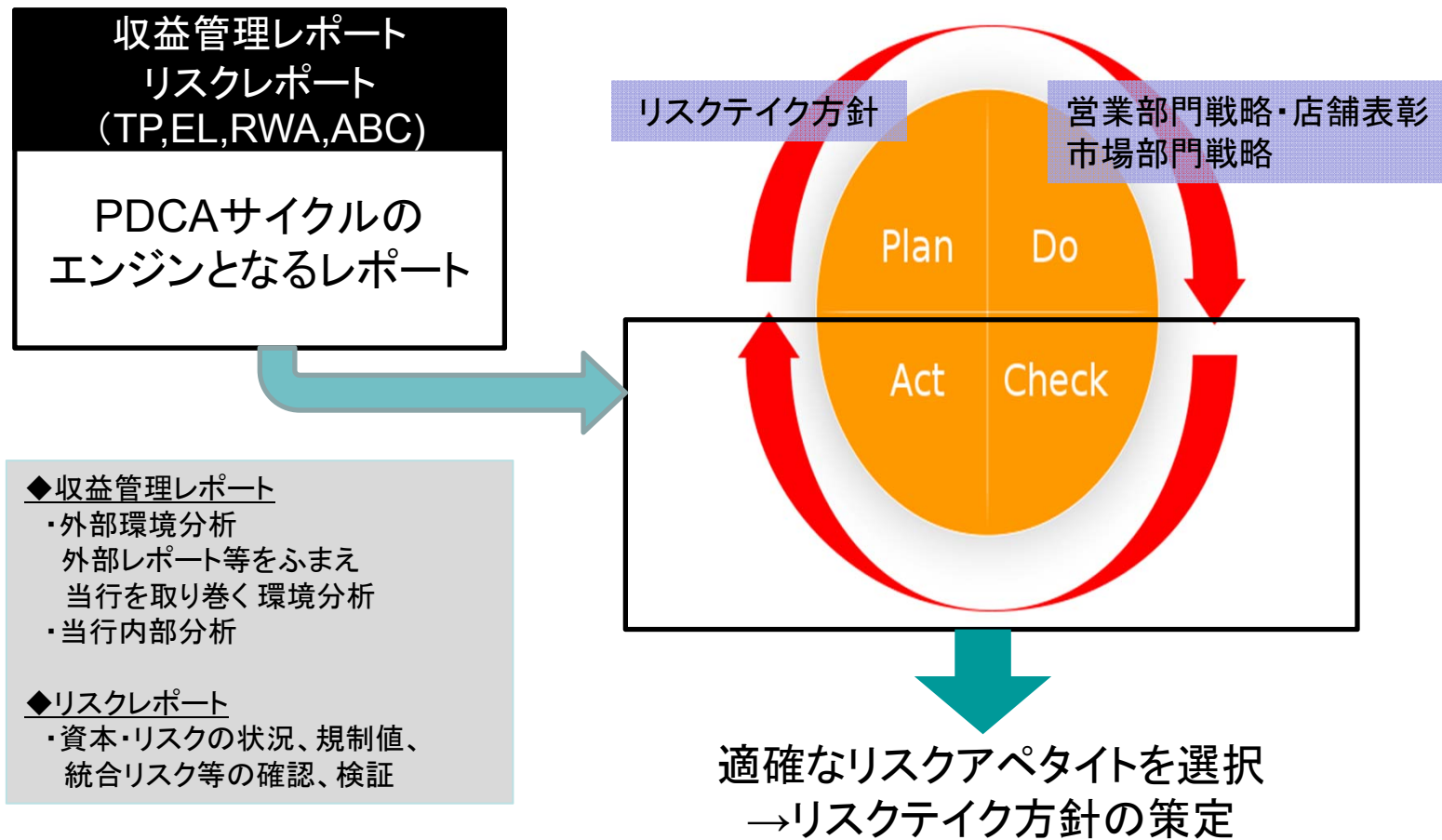


今回のポイント

- ◆リスク管理体制
- ◆当行のRAFの特徴
 - ・中計のPDCAとその主な内容
 - ・ストレステスト
- ◆今後の改善点

今後の改善点

・収益管理レポート、リスクレポートの作成



今後の改善点

最後に

- ・理解しやすいものにする。
→経営とのリスク・コミュニケーションツール。
- ・自行の現状に応じたものにする。
→現状行っている収益管理、リスク管理のパーツを使えないか。
- ・改善を続ける努力をする。
→浸透には時間がかかる。